

ティーエスワン®による流涙症状を発見し涙道閉塞を回避

プレボイドとは薬学的ケアから患者の不利益（副作用、相互作用、治療効果不十分など）を回避あるいは軽減した事例を意味します。今回は、ティーエスワン®による流涙症状を発見し、不可逆的な涙道障害を回避した事例を紹介します。

<事例>

患者背景：胃癌に対するシスプラチン・ティーエスワン®併用療法目的で入院中

患者の訴え：数日前より眼脂、流涙症状

病棟薬剤師の対応：ティーエスワン®の副作用である涙管閉塞の可能性もあるため、担当医へ症状を報告し眼科受診を依頼

経過：眼科を受診し、涙管閉塞はないとの診断であったが、炎症を抑えるためフルオロメトロン点眼液が処方され、涙道障害早期発見のため定期的な眼科受診を行うこととなった。

ティーエスワン®において、流涙は約5人に1人の割合で発現！

放置すると・・・

不可逆的な涙道障害や著明な視力低下を伴う角膜障害に至ることがあります。

早期発見・治療が重要！ 流涙の症状がある場合、早急に眼科医へ

○調剤薬局の先生方へ○ 抗がん剤(TS-1)副作用モニタリングシートの活用をお願いします。

TS-1	受診日	年	月	日	<input type="checkbox"/> ご本人 <input type="checkbox"/> ご家族	いいえの場合は こちらの項目にもご記入下さい
チェック項目	最近2週間の症状についてご記入下さい					こちらの項目にもご記入下さい
下痢	下痢はなかった	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ			1日4回以上の下痢をした <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
口内炎	口の中に痛みは無くいつも通り食事が取れている	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ			口の中に痛みがありいつもの食事が取れない <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
悪心	体重に変わりなくいつも通り食事が取れている	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ			食事の量が減っている <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
嘔吐	吐いた日は無かった	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ			1日3回以上吐いた日があった <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
眼症状	眼に違和感はない <small>(特記事項があれば記載)</small>	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ			涙が溢れたり、物が見えにくくなった <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
その他						

※当院薬剤部ホームページの薬薬連携「抗がん剤」から入手出来ます。

流涙（涙道閉塞）とは？

涙の通り道である「涙道」の狭窄・閉塞で涙が眼の表面にあふれ、こぼれ落ちる現象です。

■症状



対処方法

■軽症例

防腐剤非添加の人工涙液で薬剤に曝露された涙液を洗い流すことが基本

※ヒアルロン酸等、粘稠性のある成分を含有している点眼薬は眼表面での滞留時間を延長させる可能性があり、使用を控えたほうが良いと言われています。

■進行例

涙道チューブの留置

瞬きなどの働きにより生じるチューブと涙管の隙間を涙が流れます。

